

付属資料10(1)

CPDポイントモデル想定 (毎年継続的に可能な研修CPDポイント)

時間×回数(日)

分類番号	分類	CPDアイテム	空気調和・衛生工学会 (技術士CPDコースは別途技術士会規定による)	技術士CPD対象	上限	技術士	建築設備士	中級設備技術者	初級設備技術者	
	技術情報吸収など	技術士会共通講習受講	H		無し	3 Hr × 2 回 = 6	3 Hr × 2 回 = 6	3 Hr × 2 回 = 6	3 Hr × 3 回 = 9	
		学術講演会、技術講演会、セミナー、オープンカレッジ等の聴講								
		受験講習会等の受講								
		初級技術者研修会の受講								
		見学会参加								
		社会人博士課程・修士課程履修								
企業内研修およびOJT	企業内研修プログラム受講	H	x	20		6 × 1 = 6	6 × 2 = 12	6 × 2 = 12		
		OJT	x			20 × 1 = 20	20 × 1 = 20	20 × 1 = 20		
自己学習	専門書・学会誌購読・通信教育等自己学習	H		20	2 × 24 = 48	2 × 24 = 48	2 × 24 = 48	2 × 24 = 48		
業務経験	APECエンジニア要件対象業務相当の実務経験	-		20						
	成果を上げた業務等(責任者)	20								
	同上(担当者)	10								
研究・技術成果報告	原著論文・技術報告掲載(査読付、単著・筆頭著者)	40		40						
	同上(査読付、筆頭以外の連名著者)	20								
	シンポジウム等論文(概要による査読付、単著・筆頭著者)	10								
	*上記を外国で口頭発表した場合の加算	20%加算	x							
	シンポジウム等論文(概要による査読付、筆頭以外の連名著者)	5								
	シンポジウム論文の口頭発表	0.4M								
	*上記～論文が外国語の場合(単著・筆頭著者)の加算	20%加算	x							
	論文梗概(単著・筆頭著者)	5								
	同上(筆頭以外の連名著者)	2								
論文梗概による口頭発表	0.4M									
情報提供・技術指導	技術解説記事執筆	2/頁		無し		10 × 1 = 10				
	技術図書の執筆	2/頁								
	技術講演会、講習会等の講師、シンポジウムパネラー	10								
	技術講演会、講習会、学術講演会の座長・司会	5								
	学協会研究委員会等委員	H								
	学協会研究委員会等委員長・主査・幹事	2H								
	原著論文査読・図書原稿査読	H								
	応急危険度判定等専門知識による社会貢献活動	2H								
	*～までを外国語または外国での活動の場合の加算	20%加算	x							
講師	社内研修会等の講師	2H		20						
	大学での非常勤講師	2H								
受賞・資格取得・その他	受賞(学会賞等)	20		無し						
	同上(その他の賞)	20								
	関連資格・学位取得	20								
	特許出願(受理)	20を連名者で配分								
	上記以外で、CPDに値すると判断されるもの	適宜判断								
: 技術士会 規定による						計	82時間	86時間	92時間	95時間
						CPD	54ポイント	52ポイント	52ポイント	55ポイント

* 研修時間とCPDポイントに相違があるのはCPDアイテム別に上限があるため